

平成28年(2016年)熊本地震



予期せぬ熊本地震を体験して

熊本市開業 椿 誠 (16期)

平成28年4月14日午後9時26分仕事も終わり自宅にて食事中の事であった。携帯電話から警報が鳴り響くと共に突然の地震。思わず冷蔵庫をとっさに押えた！すごい揺れたな～どれくらいだろう？すぐにTVの速報が流れると益城町震度7 (M6.5) マジで！が素直な気持ちだった、熊本県歯科医師会は15日に直ぐに災害対策本部を設立し対応が始まった。その晩の16日午前1時25分そろそろ寝ようと窓を閉めた瞬間、またもや携帯電話の警報と共にドーンと地鳴りがし、もの凄い横揺れ、揺れ始めて間もなく停電し携帯電話のライトを頼りに家族を連れて家を出る。その後、車で実家の前の小学校に避難するも学校はすでに避難者の車でいっぱい入れず駐車場の車の中で、一夜を明かした。その間も何度か車が揺れる程の余震が続く。二度目は震度7 (M7.3) 一回目とは比べ物にならない。明るくなって自宅とクリニックを見に行くと自宅はリビングとキッチンにある棚・家電・食器が倒れてガラスが散乱していた、呆然としクリニックの様子を見に行くと前回よりは酷いものの明らかに自宅より軽症だった。

ライフラインは電気はつくが、水・ガスがストップの状態だった。避難所には入れない為、親戚・一部のスタッフを連れてクリニック・ガレージで避難生活を始めた。食料・水が無く困っていると我が福歯大学卒の同級生・先輩・後輩達が大量の物資(食料・水・デンタルグッズ)を車で持ってきてくれた。泣きそうなくらいありがたかった。この場をお借りしてお礼を言いたい『本当にありがとうございました。』この大学を卒業して本当に良かったと心から思った。



その後熊本県歯科医師会にも九地連、山口県の派遣チームのみなさんによるボランティア活動、福歯大同窓会・福岡歯科大学・全国の歯科医師会・全国の歯科関連業者様・全国のスタディグループより物資・義援金が集まっております。皆様に重ねてお礼申し上げます。現在も5軒の歯科医院は開院できない状態です。うち一軒は同窓生のクリニックですが必ず復活する様、同窓生力を負わせて頑張ります。

がまだすばい熊本！

同窓会より熊本地震への支援について

平成28年4月に発生した熊本地震に際し、同窓会と福岡学園より、熊本県歯科医師会へ義援金各100万円を送りました。また、本同窓会では理事会・評議員会・総会の決議に従い現在、各地区同窓会を通して義援金のお願いを行っております。この義援金を元に、大阿蘇会(熊本県同窓会)から被災された同窓生へ支援を行う予定です。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

福岡歯科大学同窓会
会長 宮口 巖

平成28年6月11日に平成27年度本学同窓会総会が行われ、特別講演会では水田祥代理事長より「学校法人福岡学園の現状とこれから」という演題でご講演いただきました。

まず4月14日の熊本・大分地方地震に関する福岡学園の対応として、大学・短期大学の新生の阿蘇研修を中止し、保護者の住所等が被災した場合の学生が帰省した授業の欠席を公休扱いとしたこと、福岡学園から熊本県歯科医師会災害対策本部に義援金を送金したとの報告がありました。また、九州地区連合歯科医師会からの依頼にて被災地に歯科医療スタッフの派遣を行ったことについて、被災地における口腔ケアの重要性が社会的に認知されつつあることを非常に喜ばれておりました。

次に、1) 福岡学園の現状、2) 課題への取り組み、3) 今後の展望、の3つに分けて話されました。

まず、学校法人福岡学園の現状として、当学園の沿革と今年から7月27日に学園記念日を復活させて式典を開くとのことでした。学生教育に対しては全学年を通して基礎（態度）教育に力を注ぐこと、各学年のカリキュラム、デジタル化口腔顎機能訓練機能解析教育装置およびシミュレーション実習用患者ロボットを使用した臨床に即した実習を行っていること、提携姉妹校への交換留学（ブリティッシュコロンビア大学、慶熙大学校、中国医科大学、上海交通大学、ヤンゴン歯科大学）、スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラムへの参加について詳しく説明されました。本学の学生への支援については、修学支援システムとして助言教員の配置、スチューデントアシスタント制度の実施、成績不振者への対応としての修学支援、講義録画システムによる自習を促進していることを説明されました。また、各種奨学金や大学父兄後援会や学生共済会、同窓会との連携による経済的支援、特に当大学の同窓会の先生方のいろいろな対応について非常に多くの支援をいただいていることに対して深く感銘を受けておられました。社会との連携について地域連携センターを設置して、出前講座や地域カフェ（かふえもりのいえ）、介護予防教室（65歳からの健康づくり教室）の実施などを行うことによって、経済効果が上がっていることを話されました。また、地域連携に学生が参加することによって、自然に臨床に即した考え方を身につけることができるというポジティブフィードバックが形成できるメリットについても話されました。続いて、大学の収支について非常に詳細な説明をされ、医業収入の増加が今後の課題であ

ることを話されました。

次に現在の課題では「人材の育成」「経営の向上」が大切であることを、特に強調されました。石川学長のリーダーシップのもと、昨年度から始めた学生教育改革として、第1から3学年まで必須事項を中心に各教科の統合試験を実施することによって、総合力の上昇を目指していること、第4学年に対してはCBT用授業コンテンツを作成して自己学習を促進していること、第5学年では臨床実習中に授業コンテンツなどを用いて、知識の定着を補強して、第6学年は歯科医師国家試験結果の分析に基づき、必修問題や基礎と臨床の融合問題などを実施することによって学力の向上を目指していることを説明されました。また、教員に対してFaculty Development (FD) を実施して質の向上を目指していること、更には本学出身のスタッフを増やし、「教員が何を教えたか」から「学生が何を学んだか」というアウトカム基板型教育（OBE）という教育方針を掲げて行くことを説明されました。大学院の充実、先端科学研究センター、老化制御研究センター、再生医学研究センターのリニューアルを行い、外部資金取得を促進させることによって、研究の活性化を図ることを話されました。また、教育や研究実績に対する評価と同様に、顕著な臨床実績を有する医師および歯科医師に「病院教授」「病院准教授」の称号を付与したことを宣言されました。当学園の長期的な運営を見据えたうえで、事務職員の定期採用および研修制度を行うことも話されました。

最後に今後の展望として、新病院の構想についての話がありました。現在の50床から100～150床に拡充して外来をメインとし回復期リハビリテーションを中心とした病院を目標とし、そのなかでも口腔リハビリテーションを充実させることを話されました。当大学を中心として福岡歯科大学医科歯科総合病院、口腔医療センター、福岡医療短期大学、介護施設（サンシャインシティ、サンシャインプラザ、サンシャインセンター）を大きなユニットとして考え、医療—保健—福祉の総合学園として口腔医学のスペシャリストを生み出す環境づくりには、現在新設中の看護大学は必要不可欠であることを強調されました。また、キャンパス内に保育所設立、50周年記念講堂の建設、学生センターを拡充し、レストラン、コンビニエンスストアを入れることによって、学生、同窓生、教職員が誇れる大学、入りたい大学を目指していくことを話され、盛況のうち終了いたしました。

学術理事 野上堅太郎 (22期)

福岡歯科大学同窓生子弟対象 オープンキャンパス 2016



同窓生対象、オープン キャンパスに参加して

長崎市開業 行成哲弘（5期）

6月12日（日）に私ども夫婦と3男（高校3年生）を伴いオープンキャンパスへ参加しました。実は子どもが高校1年生になった2年前より参加させていただいております。長男、次男は歯科とはまったく違う方面に進んでおり4人いる子どものひとりでも歯科医師を目指してくれたらと思ひ参加しておりました。高校1年時は双子の4男も共に参加しましたが別の道へ興味が湧き、3男だけが歯科医師へ興味を示してくれました。

大学周辺は私たちが在学したときとは比べ物にならないほど発展しており道路もずいぶん変わっておりました。緑のポロシャツを着た在学生在がサポートしてくれ無事受付を済ませ資料を受け取り着席、水田理事長のありがたいお話を拝聴し、次は同窓会会長の宮口巖先生、昨年はユーモアに満ちたご挨拶でしたが今年はまじめなお話し、同じ長崎で日頃からよく存じ上げている先生ですので、昨日のお酒の量が足りなかったのか、それとも体調が悪いのか心配しました。学生部長の岡部幸司教授よりスライドを使い、現在の歯科教育の状況、国家試験の状況、本学の口腔医学への取り組みなどを詳しく説明されました。その後2班に別れ施設見学があり、診療室、学生専用診療室を周り設備のすばらしさ、最新技術に感嘆し、医科診療科の



数、診断機器の価格に驚かされました。病院棟の内部はずいぶん変わっていましたが、小児歯科、矯正歯科診療室の場所は変わっておらず、ちょっと安心した次第です。尾崎正雄教授が開発に携われたシミュレーションアンドロイドはすばらしく、アナフィラキシーショックを忠実に再現されておりその対処法などを学べる様になっています。子どもより親のほうが興味津々でした。

お昼は懐かしい学生食堂で石川博之学長のお話のあとで在學生、教職員の先生方を囲んで豪華お弁当をいただき、食事中でも有意義なお話を聞くことができました。子どもも在學生へ大学生生活の状況などを聞いており、かなり興味が湧いているようでした。親のほうは入試の状況、国家試験のことなどを聞き、情報収集することができました。午後からは最新のインプラントシミュレーションソフトを使い、実習を行いました。これには子どもより親のほうが一生涯懸命となり技術の進歩を痛感し、現在の本学の教育水準の高さに感嘆しました。その後、最初の教室に戻り、入試の状況、面接の仕方も実際に在學生さんを使い実演していただき心強い限りでした。子どもにも歯科医師を目指す、いい刺激となった一日でした。

この度のオープンキャンパスを企画された教職員の先生方、同窓会役員の先生方、またサポートしてくれた在學生の皆様へ感謝申し上げます。



ロボット体験



現在学生の皆さんがお手伝い

第23回日本歯科医学会総会並びに第69回九州歯科医学大会に伴う 福岡歯科大学同窓会懇親会開催のお知らせ

同窓生の皆様におかれましては益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。さて、九地連に伴う福岡歯科大学同窓会懇親会を下記の通り福岡県で開催いたします。今回は10月21日(金)から3日間、福岡歯科大学が主幹(会頭：水田祥代理事長)により第23回日本歯科医学会総会とあわせて日本デンタルショーも開催され、九州ブロック以外の同窓の先生方も全国から参加いただく懇親会を開催いたします。福岡県ならではの催しと美味しい食べ物とうまい酒を用意して、皆様の心に残る楽しい懇親会になりますように福岡県地区会で一丸となって準備を進めているところです。皆様の多数のご参加、ご来福を心よりお待ちしております。

参加申込の詳細は同封の別紙(チラシ)をご参照ください。8月31日までに日本歯科医学会総会と懇親会の参加登録並びに宿泊施設の確保をお願い致します。

記

日 時 平成28年10月22日(土) 18:30~
場 所 西鉄グランドホテル
会 場 2F プレジール
会 費 15,000円(2次会費を含む)
当日会費 18,000円
問 合 せ 持山達郎 持山歯科医院 ☎092-712-3900



福岡歯科大学同窓会懇親会実行委員会 大会長 中 四良
実行委員長 秋山達也

※下記のQRコードより、医学大会の参加登録(事前登録は無料)と宿泊も合わせて予約が出来ます。

第23回日本歯科医学会総会

The 23rd General Meeting of the Japanese Association for Dental Science

歯科医療 未来と夢

New Paradigm for Dental Medicine Its Futures and Our Dreams

平成28年(2016年)

10/21(金)・22(土)・23(日)

福岡国際会議場、福岡サンパレス

会 頭：水田 祥代(学校法人福岡学園・福岡歯科大学 理事長)
主幹校：福岡歯科大学 幹事校：九州歯科大学、九州大学大学院歯学研究院
長崎大学歯学部、鹿児島大学歯学部

併催行事：第69回九州歯科医学大会/日本デンタルショー2016福岡(会場：マリンメッセ福岡)

開会講演 1

10/21(金) 11:30~12:30

iPS細胞研究の現状と
医療応用に向けた取り組み

山中 伸弥

(京都大学iPS細胞研究所 所長・教授)

開会講演 2

10/21(金) 12:45~13:45

宇宙飛行から学んだこと
—有人宇宙探査と歯科医学への期待—

向井 千秋

(東京理科大学 特任副学長)

会頭講演

10/21(金) 17:10~17:40

輝いて美しく
—女性医療人へのエール—

水田 祥代

(第23回日本歯科医学会総会 会頭)

公開フォーラム

10/23(日) 14:00~17:00

口から食べて豊かな人生

基調講演 演者 飯島 勝矢

(東京大学高齢社会総合研究機構 教授)

市民イベント

10/23(日) 13:00~17:00

お口と身体健康フェスティバル
—豊かな人生を歩むために—

■会 場：福岡国際会議場3階 メインホールロビー
■参加者：公開フォーラムの参加者(一般市民)
■参加費：無料

事前登録(宿泊も可)

6/1(水)
~9/2(金)



登録はココから